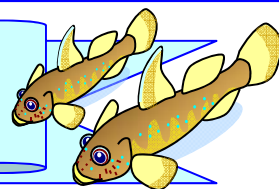




“鴨川探検！再発見！”見聞録

～第39弾「鴨川の水辺の生きもの観察会」の巻～



“鴨川”の魅力を再発見し、川への理解を深め、治水や防災、河川愛護や自然環境保全への関心と取り組みの輪を広げてもらうことを目的として“鴨川探検！再発見！”第39弾「鴨川の水辺の生きもの観察会」を開催しました。

残暑の中でも、小学生と保護者の41名は、元気に鴨川の中に入り、スナヤツメ、オタマジャクシ、ドジョウ、ヤゴ、アメリカザリガニなどの生物を採取しました。また、CODパックテストを使って、鴨川の水質について調べました。普段は入ることがない、川に入り、様々な生物を発見、触れることで川に親しみと興味を持っていただけたようです。水辺の生きものについて、講師の先生にも丁寧に教えていただき、親子で夏休みの楽しい思い出作りができました。



親子でいっしょにがんばってとぞ！



草や石の下に生き物がいました



とれた生き物は水槽に入れました



先生達に生き物について質問しました



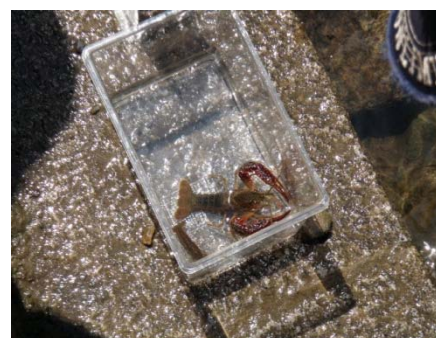
スナヤツメ、思わず食べたいの声も



オタマジャクシ



とれた生き物について先生から説明を聞いて、鴨川の生態系を勉強しました



アメリカザリガニ

■ 日 時 平成27年8月23日 日曜日 午前9時から11時30分まで(天候 晴れ)

■ 場 所 鴨川の北山大橋周辺

■ 参加者 子ども20名(小学生16名)、保護者21名の計41名
[講師:NPO自然観察指導員京都連絡会 7名]

